

評価項目一覧

評価項目		企画要求事項	評価区分	得点配分			評価基準		雛形 頁番号	企画書 頁番号
				基礎点	加点	計	基礎点	加点		
1 事業の目的、内容及び実施スケジュール										
1.1	事業目的	・事業目的が仕様書と合致しているか。	必須	5	－	5	・事業目的が仕様書と合致しているか。	－	1	
1.2	事業内容	・事業内容が仕様書と合致しているか。	必須	5	0	5	・事業内容が仕様書と合致しているか。	－	2	
		・事業内容が効果的かつ効率的で、実現可能なものとなっているか。		－	5	5	－	・事業内容が効果的かつ効率的で、実現可能なものとなっているか。	2	
		・事業内容に創意工夫が見られるか。 ・保有する知見・ネットワーク等を活用した提案となっているか。		－	35	35	－	・事業内容に創意工夫が見られるか。 ・保有する知見・ネットワーク等を活用した提案となっているか。	2	
1.3	実施方法・スケジュール	・事業実施方法が、事業目的、内容と整合しているか。 ・実施スケジュール、人員、作業手順は妥当なものとなっているか。	必須	5	－	5	・事業実施方法が、事業目的、内容と整合しているか。 ・実施スケジュール、人員、作業手順は妥当なものとなっているか。	－	3	
2 事業の効果										
2.1	波及効果	・事業の波及効果が見込まれるか。	必須	5	－	5	・事業の波及効果が見込まれるか。	－	4	
		・事業の波及が見込まれるための創意工夫がなされているか。		－	25	25	－	・事業の波及が見込まれるための創意工夫がなされているか。	4	
2.2	事業評価	・事業評価手法が仕様書と合致しているか。	必須	5		5	・事業評価手法が仕様書と合致しているか。	－	5	
		・事業評価手法に創意工夫が見られるか。 ・次年度以降も継続して活用できることを考慮した事業評価手法になっているか。 ・次年度の改善につながる評価手法となっているか。			15	15	－	・事業評価手法に創意工夫が見られるか。 ・次年度以降も継続して活用できることを考慮した事業評価手法になっているか。 ・次年度の改善につながる評価手法となっているか。	5	
3 事業の実施体制										
3.1	実施体制・役割分担	・事業内容(再委託を含む)が、当機構の経営理念等に反する恐れがないか。 ・事業の実施体制及び役割分担が妥当なものとなっているか。 ・事業を遂行する上で妥当な人数が確保されているか。	必須	5	－	5	・事業内容(再委託を含む)が、当機構の経営理念等に反する恐れがないか。 ・事業の実施体制及び役割分担が妥当なものとなっているか。 ・事業を遂行する上で妥当な人数が確保されているか。	－	6	
		・要員、体制、役割分担が明確にされているか。 ・当機構からの要請等に柔軟に対応できる体制があるか。		－	20	20	－	・要員、体制、役割分担が明確にされているか。 ・当機構からの要請等に柔軟に対応できる体制があるか。	6	
		・次世代層に繋がる強みとなるネットワークを有しているか。 ・上記ネットワークを活用し、参加者募集に繋げる取組みを実施できる体制であるか。		－	30	30	－	・次世代層に繋がる強みとなるネットワークを有しているか。 ・上記ネットワークを活用し、参加者募集に繋げる取組みを実施できる体制であるか。	6	
3.2	知見・専門性、類似実績等	・当該事業を効率的、効果的に遂行するために活用可能な知見や専門知識・ノウハウを有しているか。	必須	5	－	5	・当該事業を効率的、効果的に遂行するために活用可能な知見や専門知識・ノウハウを有しているか。	－	7	
		・当該事業との類似実績があり、機構の課題に対し、企画提案・反映できる能力を有しているか。		－	30	30	－	・当該事業との類似実績があり、機構の課題に対し、企画提案・反映できる能力を有しているか。	7	
3.3	経理処理能力等	・事業遂行のための経営基盤・経理処理能力を有していると判断できるか。	必須	5	－	5	・事業遂行のための経営基盤・経理処理能力を有しているなど組織の適格性を判断できるか。	－	8	
4 添付資料										
4.1	事業実施に係る工数	・事業実施に係る業務従事者のクラス別工数	必須	－	－	－	－	－	9	
				合計	40	160	200			